

iKO Project

魅力ある学校づくり ～iKO プロジェクト～

計画と達成基準

1

生徒一人ひとりの進路実現

学ぶ力の育成と学力の向上
授業改善による教師力の向上
規律ある生活態度の育成

教務課	園芸科
進路課	家政科
生徒課	

2

地域と連携したグローバル人材の育成

地域に学ぶ「総合的な学習の時間」「社会貢献活動」等の効果的活用によるキャリア教育の充実
英語教育の充実
コミュニケーション力・プレゼンテーション力(表現力)の向上

教務課	園芸科
進路課	家政科
地域連携	

3

部活動・農業クラブ・家庭クラブ活動の活性化

活動時間の確保
指導体制づくり
積極的な情報発信

教務課	園芸科
生徒課	家政科

4

安全で安心な学校生活の創造

自主的な清掃活動
委員会活動の活性化
教育相談の充実

生徒課	厚生課
-----	-----

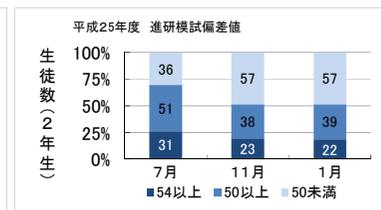
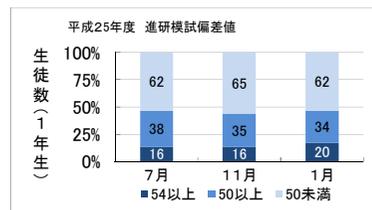
1 生徒一人ひとりの進路実現

学ぶ力の育成と学力の向上

担当(分掌)	具体的計画	今年度の達成基準(昨年度までの状況)
教務課	普通科 ○成績不振等で学習意欲が低い生徒を喚起するため、学年途中での中間成績を算出し、該当生徒への学習指導や面談指導に役立てる。	○追認定考査受験者数の減少(昨年 のべ14)

教務課 進路課	専門科 ①基礎学力の定着を図るため、漢字テスト、 計算力テスト の年間平均点の目標を各クラスで掲げ、お互い励まし合いながら目標を達成する。 ②学習習慣の定着を図るため、昨年に引き続き、平日3回の生活実態調査を実施し、個々の学習時間のアップを目指す。	① 漢字テスト 昨年度の平均点を上回る平均を目標とする。 E1… 80点 K1… 90点 E2… 80点 (昨年76点) K2… 95点 (昨年93点) E3… 80点 (昨年78点) K3… 95点 (昨年94点) 計算力テスト 園芸科… 60点 、 家政科… 80点	学習実態調査増加生徒
	② 生活実態調査 1回目から3回目の学習時間が増加している生徒の割合 60% 。		

進路課	普通科 ①進路LHR、面談や集会等を通し学習の大切さを呼びかける。学習習慣(生活習慣)の定着を図るために、学習実態調査や学習計画表などを活用する。	① 学習実態調査 ・1日の学習時間 2時間未満の生徒数 (3年2回調査) 1年 20名以下 2年 20名以下 3年 5時間以上の生徒を50%以上	2時間未満の生徒 	「学習実態調査や土曜...」(普通科)
	②3年間を見通した教科指導・進路指導をする。基礎学力を定着させるために、授業を基本として、土曜活用、補習、 休日の自習教室開放 等を活用する。	学校自己評価 「学習実態調査や土曜活用、SSTを通して学習習慣を確立させる指導がなされている。」 生徒評価指数 13以上 (昨年度:13.1) ②1年生では、国公立大学に進学できる学力を持つ生徒(進研模試における 全国偏差値5.4以上)およびそれに続く層(全国偏差値5.0以上)を増やす。2年生は 1年1月時の維持 を目標とする。		

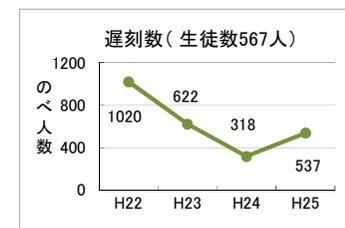
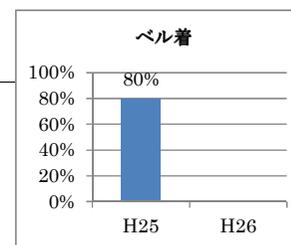


授業改善による教師力の向上

担当(分掌)	具体的計画	今年度の達成基準(昨年度までの状況)
教務課	普通科 ○教員相互の授業参観を活発にするため、 公開授業週間を設定 し、授業評価シートを活用する。	普通科 ○公開授業週間を 年2回 設定 (期間は1週間程度)。期間内の他の教員の授業参観 2回以上70%
	専門科 ○ICT機器の活用促進ならびにICT機器がより容易に使用できる環境作り。	専門科 ○普通教室に新しく設置されたプロジェクターなどのICT機器を利用した授業が各教員 年1回以上実施 。
進路課	専門科 ○適性検査の担任団及び生徒対象の評価講習会を開催し、今後の進路指導や進路選択に役立ててもらう。	専門科 ○ 進路課アンケート 評価講習会に参加し (よかった、とても良かった) 80%以上
	①相互の授業参観を行い、授業評価を行う。	①部講師授業を活用し、年間2回以上相互授業参加、参観を行う。
園芸科	②ICTを活用した授業を行い、わかる授業を行う。	② 専門学科生徒アンケート 「学習を助けるためのプリント、視聴覚教材を準備している」が「よくあてはまる」で 80%以上
	○ICT機器を活用した授業を行い、授業改善を図る。	○各自がICT機器を活用した授業を 2回以上 実践する。
家政科		

規律ある生活態度の育成

担当(分掌)	具体的計画	今年度の達成基準(昨年度までの状況)
教務課	専門科 ○ベル着の徹底と、始業ベルでの授業開始。	○ 授業評価アンケート 「あなたはベル着ができていますか」 85%以上 (昨年80%)
生徒課	①すすんで気持ちのよい挨拶をさせるため、挨拶週間などを決め実施する。	① 生徒課アンケート 「挨拶が自主的にできた」が、「とても出来た・出来た」で 80%以上
	②服装指導を徹底させるため、着こなし週間を決め実施し、しっかり声掛けをする。	② 生徒課アンケート 「制服がきちんと着こなせた」が、「着こなせた」で 80%以上
	③遅刻数を減少させるため、遅刻の多い生徒は個人指導を実施する。	③南北両校地合計500回以内
	④交通指導を徹底させるため、春・秋交通安全週間期間中・毎月10日に交通立ち番を実施する。	④ 生徒課アンケート 「ルール・マナーを守ることができた」が、「よく守れた、だいたい守れた」で 80%以上
園芸科	①授業の開始と終わりや実習(行事)時に気持ちの良い挨拶ができるよう指導する。	① 専門学科生徒アンケート 「気持ちのいいあいさつができた」が「よくあてはまる」で 80%以上
	②安全面に留意し、正しい服装・身だしなみで実習を行うように指導する。	② 専門学科生徒アンケート 「実習時に服装・身だしなみを整えた」が「よくあてはまる」で 80%以上
家政科	○全ての授業で、授業の準備を整えて始業までに着席させる。	○ 専門学科生徒アンケート 「授業の準備を整えて始業までに着席することができた」が「非常によくあてはまる」と「よくあてはまる」で 90%以上



2 地域と連携したグローバル人材の育成

地域に学ぶ「総合的な学習の時間」「社会貢献活動」等の効果的活用によるキャリア教育の充実

担当(分掌)	具体的計画	今年度の達成基準(昨年度までの状況)
進路課	普通科 ○キャリア教育の一環として、外部講師を招いた諸行事および講演会等を企画する。「総合的な学習の時間」との連携を図る。	学校自己評価 「LHR や説明会などで進路選択のための働きかけがなされている」 生徒評価指数 12 以上 (昨年：13.0) 「出張講義などの行事は、進路選択に役立っている。」 生徒評価指数 12 以上 (昨年：11.8)
家政科	○地域連携を図り、専門の学びを生かした活動を推進する。 ・ハッピーライフ講座 ・地域型福祉学習事業 ・井原デニムの研究 ・井原高校ふれ愛まつり	専門学科生徒アンケート 「地域連携や専門の学びを生かした活動ができた」が「非常によくあてはまる」と「よくあてはまる」で 80%以上 。



英語教育の充実

担当(分掌)	具体的計画	今年度の達成基準(昨年度までの状況)
地域連携	①地域の中学生英語スピーチコンテストや国際交流行事への積極的な参加を呼びかける。 ②地域人材を活用し、生徒の英語コミュニケーション力の向上をはかり、各種コンテスト等に参加する。 ③地域や国際貢献について視野を広げる講演を実施する。	授業評価アンケート 新項目の「学習した英語を用いて自らを表現できる機会を得ることができた。」 「非常にあてはまる」「よくあてはまる」で 80%以上 ○各種コンテストへの参加者が 増加する 。

コミュニケーション力・プレゼンテーション力(表現力)の向上

担当(分掌)	具体的計画	今年度の達成基準(昨年度までの状況)
教務課	普通科 ①LHR やさわやかタイム等での言語活動の導入。 ②「言語活動の充実」に関わる校内研究授業の複数回実施。 全学科 ○授業や LHR での図書館利用の促進 専門科 ○総合的な学習の時間「いばらぶ」の内容の充実。 (1) 地域についての見識を深める (2) 自らの進路を考える (3) 体験発表でのプレゼンテーション。	○さわやかタイムでの1分間スピーチ等の実施、 ディベート LHR の実施 をすることができた ○校内研究授業の 複数回実施 することができた ○図書館を利用した LHR や授業数の増加 普通科 H25年 利用数1回 (H24年 0回) 専門科 H25年 利用数0回 (H24年 1回) 専門学科生徒アンケート 新項目「ICT 機器などを用いながら自分の調べたことや意見を発表する機会がある。」評価指数 5.0 以上
園芸科	○交流体験授業や各種行事の事前、事後指導の充実を図る。(教科間連携も活用する。)	専門学科生徒アンケート 「行事や交流の準備を計画的に行い、実施後に反省・評価ができたか」が「できた」 80%以上
家政科	○ホームプロジェクトの発表を行わせることで、 プレゼンテーション力の向上 を図る。	○各クラスで全員がホームプロジェクトの 発表を行う

3 部活動・農業クラブ・家庭クラブ活動の活性化

活動時間の確保

担当(分掌)	具体的計画	今年度の達成基準(昨年度までの状況)
生徒課	①活動時間を守らせるため、下校校門指導を実施する。 ②部活動入部率を向上させるために、1年生に対して部活動紹介などを実施する。[県ベスト16以上を目標にする]	① 生徒課アンケート 「下校時刻が守れましたか」「守れた、だいたい守れた」が 80%以上 ②入部率 56%以上 (昨年 56.6%)
園芸科	○役員会で行事運営に向けての計画、準備や次に繋がる反省を行う。	○定期的に役員会 (年間5回) を実施する。

指導体制づくり

担当(分掌)	具体的計画	今年度の達成基準(昨年度までの状況)
園芸科	○各種競技、大会運営および資格取得は、教員2名で指導する。	○各種 県大会 競技で 2種目以上 の入賞。 ○専門資格取得 100%の合格 。
家政科	○家庭クラブ員の交流活動を活発にする。	○新規の交流活動を 1つ以上企画・実施 する。

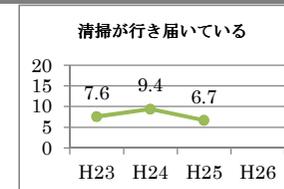
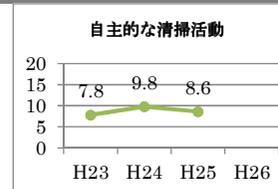
積極的な情報発信

担当(分掌)	具体的計画	今年度の達成基準(昨年度までの状況)
教務課	①HP のリンクの整理や古いページの削除をさらに推進する。 ②他の教育機関(例: 塾等) への情報発信を推進する。	① 最近の情報のみ見えるHP になる。 ②塾訪問、塾との懇談会の 複数回実施 。
生徒課	○ホームページ(部活動)を充実させるために、各部署顧問に働きかける。	○全部活動が 年間1回は活動内容を更新 する。
園芸科	①農ク新聞の新規発行 ②Web ページのアップと更新	①農ク新聞 (年間5回) を発行する。 ②Web ページによる発信を 年間20回以上 行い、 学科ページを最新 にできた。

4 安全で安心な学校生活の創造

自主的な清掃活動

担当(分掌)	具体的計画	今年度の達成基準(昨年度までの状況)
厚生課	<p>①美しい学校づくりのために、生徒・教職員全員で時間いっぱい清掃活動に取り組む。</p> <p>②生徒状況アンケートを実施し、清掃重点箇所を把握し、清掃活動に活かす。</p>	<p>① 学校自己評価 「生徒が清掃活動に主体的に取り組んでいる」 <u>生徒評価指数 9.0 以上</u> (昨年 8.6) 「校内は清掃が行き届いておりきれいな状態である」 <u>生徒評価指数 8.5 以上</u> (昨年 6.7)</p> <p>② 生徒状況アンケート 「清掃重点箇所を把握できた」 「できた」 <u>80%以上</u></p>



委員会活動の活性化

担当(分掌)	具体的計画	今年度の達成基準(昨年度までの状況)
生徒課	<p>○生徒会・各部・各種委員会活動を活性化させるために、期間を決めてあいさつ運動を実施する。 [体育祭・いろは祭を盛り上げる] [あいさつ運動などに積極的に参加する]</p>	<p>○ 生徒課アンケート 「行事に対し積極的に参加できた」 「たいへん出来た・出来た」が <u>80%以上</u></p>
厚生課	<p>①委員会活動を活性化させる。 ・厚生委員会 清掃活動を充実に向けた取り組みを実施する。(学期1回の清掃用具の点検、清掃状況の点検、清掃ボランティア参加の呼びかけなど、校内外美化活動の充実)</p> <p>・保健委員会 健康、安全についての理解を深めるため保健便りを当番制で月1回発行する。</p> <p>・生活委員会 (南校地) 教室の掲示物の整美、購買の美化に努める。</p>	<p>①生徒が活躍できる場を設定。 ・学期に1回委員会を開催できた。</p> <p>・保健便りを月1回発行できた。</p>

教育相談の充実

担当(分掌)	具体的計画	今年度の達成基準(昨年度までの状況)
厚生課	<p>①日常の変化を見逃さず、教員全員で生徒を支援できるような体制を整えるために、気づきシートを導入し、教育相談係連絡会議を実施する。</p> <p>②生徒面談に役立つよう、教育相談(面談)の手法に関する教員研修を実施する。</p>	<p>① 気づきシートを導入できた。 ・教育相談連絡会を <u>月1回実施</u>し、情報を共有できた。 ・緊急対応を行う <u>ケース会議を必要に応じ実施</u>できた。</p> <p>②教員研修を充実させ、<u>参加者アンケート満足度 95%以上</u> (昨年度 95%)</p>

